

P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	危機管理室
担当課	危機管理課
課長名	白石

事業名	避難所運営支援				施策番号	
					II - 1 - (4) - ①	
事業概要	避難所に避難した市民等への迅速・的確な対応を図るため、予定避難所のうち、開設頻度の高い小中学校等(33箇所)と、各区役所(7箇所)へ、災害時に必要な物資を収めた「避難所運営支援パッケージ」を計画的に配置すると同時に、避難所におけるプライバシー保護の観点から、「避難所運営支援パッケージ」配置箇所に対して、順次「目隠し用パネル」を配置します。					事業手法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()
	コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費	
	2,228 千円	1,672 千円			2,900 千円	(人件費備考)

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	避難所に避難した市民等への迅速・的確な対応を図るとともに、避難所におけるプライバシーを保護します。	成果実績	避難所運営に有用な備品等を購入、計画的に配置し、災害発生時に備えます。		
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
	避難所に避難した市民等への迅速・的確な対応	—	避難者のニーズにあった設備等の充実	—	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	災害が発生し、市民が避難所で生活して初めてその成果が検証できるので、今後代替指標を含め、成果を検証できる客観的指標を検討します。 (最終目標と目標年度)			%		
	(最終目標と目標年度)			%		順調

活動計画	24年度は「避難所運営支援パッケージ」を配置した予定避難所に「目隠し用パネル」を配置します。					活動実績	避難所生活を市民に模擬体験してもらうため、平成24年10月27日～28日に若松区高須小学校にて「避難所体験・運営訓練」を実施し、「避難所運営支援パッケージ」及び「目隠し用パネル」の効果を確認しました。
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】	
	避難所運営支援パッケージ配置箇所数	H22年度で目標の40箇所配置済	—	—	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	避難所に防災用品等をまとめた「避難所運営支援パッケージ」を事前に配置します。(予定避難所のうち開設頻度の高い小中学校等(33箇所)と各区役所(7箇所)が対象。なおH22年度で当初計画のとおり配置完了したものです。)H24年度は消耗品等の補充を実施しました。			100.0 %			
	目隠し用パネル配置箇所数	23 セット	22 セット	22 セット		順調	
災害時、避難してきた被災者のプライバシーを保護するための「目隠し用パネル」を事前に配置します。(予定避難所のうち開設頻度の高い小中学校等(33箇所・106セット)が対象。)				100.0 %			

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	予定避難所に避難した市民への迅速・的確な対応という面で、過去に発生した豪雨災害では「避難所運営支援パッケージ」を配置している避難所を開設していること等から、有効性は高いと考えます。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	過去の避難所開設実績等をふまえ、必要性が高いと考えられる小・中学校の体育館等に配置していることから、概ね効率的であり、経済性・効率性ともに高いと考えます。

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	危機管理室
担当課	危機管理課
課長名	白石

事業名	DIG (住民参加型災害図上訓練)			施策番号		
				II - 1 - (4) - ①		
事業概要	市民防災会での活動や訓練等でDIGを実施することにより、地震や風水害、火災など市民生活の安全を脅かす出来事が発生した時に、地域にどのような被害が発生し、どのような対応をとればよいかなどを主体的に考える機会を提供し、「自主防災組織」としての災害対応能力の向上を図ります。 ※DIGとは・・・地域で大きな災害が発生した場合を想定し、地図への書き込みを通して、参加者自身が地域の防災上の長所・短所を理解し、災害活動及び事前対策へのイメージを膨らますことが出来る住民参加型の災害図上訓練。			事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他	
	コスト	24年度執行額	25年度当初予算額		(事業費備考)	目安の金額
612 千円		924 千円		5,800 千円	係長 0.20 人 職員 0.20 人	

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	市民防災会での活動や訓練等でDIGを実施することにより、地震や風水害、火災など市民生活の安全を脅かす出来事が発生した時に、地域にどのような被害が発生し、どのような対応をとればよいかなどを主体的に考える機会を提供し、「自主防災組織」としての災害対応能力の向上を図ります。	成果実績	成果の状況は下記のとおりです。		
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
	DIG (住民参加型災害図上訓練) 参加者数 (※J-DIGを含む)	2,120 人	2,000 人	1,668 人	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	地域(市民防災会)の住民を対象に消防職員によるDIGを展開し、より多くの方に参加していただき、地域の防災力の向上を図ります。 (最終目標と目標年度) 地域住民の防災意識の向上			83.4 %		
	(最終目標と目標年度)			%		順調

活動計画	50校区・地区でDIGを実施するとともに、DIGの実施要領について次段階への展開を図っていきます。			活動実績	実施回数は23年度は37回、24年度は32回と減少していますが、その分きめ細かい指導が出来たと考えます。また24年度は未実施校区に対して重点的に実施しましたので、効果は充分にあると認識しています。	
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	DIG (住民参加型災害図上訓練) 実施回数 (※J-DIGを含む)	37 回	40 回	32 回	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	地域(市民防災会)の住民を対象に消防職員によるDIGを積極的に開催し、地域の防災力の向上を図ります。			80.0 %		
	(最終目標と目標年度)			%		順調

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点	訓練を通して地域の強みや弱みに気付けたことは、住民の防災意識の高揚につながったと思慮できるため、施策実現に効果があったと考えます。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	DIGは地域の地図と筆記用具があれば行えること、さらに、地域に精通し且つ防災のプロである消防職員を講師として派遣していることから、経済性・効率性ともに高いと考えます。

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	危機管理室
担当課	危機管理課
課長名	白石

事業名	防災訓練			施策番号		
				II - 1 - (4) - ①		
事業概要	市内で発生するおそれのある地震や風水害等の災害に対して、市、物資・物流協定企業、防災関係機関、九電・西部ガス・NTT等ライフライン機関、警察、海上保安庁、自衛隊及び地域住民が一体となって、防災訓練を実施し、区役所等の災害対応力の強化、関係機関とのネットワークの充実、市民の防災意識の高揚などを図り、災害時における被害の軽減に努めます。					事業手法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()
	コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費	
	10,721 千円	9,683 千円			5,800 千円	

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	区役所等の災害対応力の強化、関係機関とのネットワークの充実、市民の防災意識の高揚などを図り、災害時における被害の軽減に努めます。			成果実績	成果の状況は下記のとおりです。	
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】	
	防災訓練参加人数	2,523 人	2,240 人	3,058 人			
	市防災訓練や各区における防災訓練を実施し、より多くの市民に参加していただき、災害対応力の向上及び関係機関との連携体制の強化、住民の防災意識の高揚を図ります。(1訓練につき280名 ※23年度実績)			136.5 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	(最終目標と目標年度) 地域住民等の防災意識の向上	%	大変順調				
	(最終目標と目標年度)			%			

活動計画	各区において防災訓練を実施するとともに、協定締結先とも訓練を実施します。また24年度は市総合防災訓練において、6年ぶりの実働訓練を実施します。			活動実績	各区において、防災訓練やシンポジウムを実施するとともに、市総合防災訓練や電設協会による訓練、当市で初となる避難所体験・運営訓練を実施しました。		
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】	
	防災訓練実施回数	9 回	8 回	9 回			
	市防災訓練や各区における防災訓練を実施し、災害対応力の向上及び関係機関との連携体制の強化、住民の防災意識の高揚を図ります。			112.5 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
		%	大変順調				
				%			

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	訓練を通して地域の強みや弱みに気付けたことは、住民の防災意識の高揚につながったと思慮できます。さらに、関係機関との連携も強化されることから施策実現に効果があったと考えます。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	実行性のある防災訓練という視点から、シナリオに基づいた実働訓練だけでなく、より効果的なシナリオをオープンにしないブランド型の図上訓練を実施する等、訓練のあり方や手法について改良を重ねており、経済性・効率性ともに高いと考えます。

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	危機管理室
担当課	危機管理課
課長名	白石

事業名	将来の地域防災リーダー育成			施策番号		
				II - 1 - (4) - ①		
事業概要	地域に居住する中学生に対してDIG(J-DIG)を実施し、若年層の防災教育の充実強化を推進するとともに、将来の防災リーダーの育成を図ります。 ※DIGとは・・・地域で大きな災害が発生した場合を想定し、地図への書き込みを通して、参加者自身が地域の防災上の長所・短所を理解し、災害活動及び事前対策へのイメージを膨らますことが出来る住民参加型の災害図上訓練。			事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他	
	コスト	24年度執行額	25年度当初予算額		目安の金額	課長
612 千円		924 千円	5,800 千円	係長	0.20 人	
				職員	0.20 人	

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	地域に居住する中学生に対してDIG(J-DIG)を実施し、若年層の防災教育の充実強化を推進するとともに、将来の防災リーダーの育成を図ります。			成果実績	成果の状況は下記のとおりです。	
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】	
	J-DIGの参加者数	454 人	500 人	498 人			
	H24年度は、全中学校に対して実施希望調査を行い、実施希望のあった5校に対してDIGを実施しました。			99.6 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	(最終目標と目標年度) 地域防災力の向上	%	順調				
	(最終目標と目標年度)						

活動計画	全中学校に対しJ-DIGの実施希望調査を行い、実施希望のある中学校に対しDIGを実施します。			活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・槻田中学校 ・白銀中学校 ・菅生中学校 ・沖田中学校 ・尾倉中学校 	
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	J-DIGの実施回数	5 回	10 回	5 回		
	H24年度は、全中学校に対して実施希望調査を行い、実施希望のあった中学校に対してDIGを実施します。			50.0 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
		%	順調			

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点	J-DIGに対する生徒の反応や感想も良好であること、さらに、まちの危険箇所を知ることができる等、災害から身を守り、生き抜く力を育成する若年層の防災教育という観点から有効性は高いと考えます。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	J-DIGは実施する学校周辺の地図と筆記用具があれば行えること、さらに、地域に精通し且つ防災のプロである消防職員を講師として派遣していることから、経済性・効率性ともに高いと考えます。

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	危機管理室
担当課	危機管理課
課長名	岡本

事業名	同報系防災行政無線			施策番号																
				II - 1 - (4) - ①																
事業概要	災害時における避難勧告などの防災情報は、テレビやラジオ、ホームページ、携帯電話の防災メール・緊急速報メール、Twitter、消防車の巡回などにより市民の皆さんへ伝達しています。さらに、津波情報を効果的に伝達するために、地域住民に一齐に通報が可能で、災害に強い情報伝達手段である同報系防災行政無線(住民に災害情報などの放送を行う屋外スピーカー)の整備を行うものです。																			
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">コスト</td> <td>24年度執行額</td> <td>25年度当初予算額</td> <td rowspan="3">事業費備考</td> <td rowspan="3">目安の金額</td> <td>課長</td> <td>0.10 人</td> </tr> <tr> <td>1,883 千円</td> <td>145,200 千円</td> <td>係長</td> <td>0.20 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>職員</td> <td>0.40 人</td> </tr> </table>						コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	事業費備考	目安の金額	課長	0.10 人	1,883 千円	145,200 千円	係長	0.20 人			職員
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	事業費備考	目安の金額	課長	0.10 人														
	1,883 千円	145,200 千円			係長	0.20 人														
					職員	0.40 人														
事業手法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他																				

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	災害時において、住民に迅速かつ的確に津波情報や避難勧告等の情報を伝達することが重要であるため、地域住民に一齐に通報が可能で、災害に強い情報伝達手段である同報系防災行政無線(住民に災害情報などの放送を行う屋外スピーカー)の整備を行うものです。			成果実績	同報系防災行政無線の整備に向け、設計業務を行っています。	
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】	
	災害情報を住民に迅速かつ一齐に伝達する			—			大変順調 順調
	同報系防災行政無線を整備します。 (最終目標と目標年度)H26年度基礎整備完了	—	—	%	やや遅れ 遅れ	順調	
	(最終目標と目標年度)			%			

活動計画	東日本大震災を受け、屋外で他に伝達手段がなく、また予兆を掴み難く、広報する暇のない津波等突発災害の対応を第一に考え、整備を検討(設計)することとしました。			活動実績	同報系防災行政無線の整備に向け、設計業務を行っています。		
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	設計業務の実施	整備方針の見直し	設計業務の実施	—			大変順調 順調
	地域住民に津波情報を効果的に伝達することを第一に考え、設計業務を行います。			%	やや遅れ 遅れ	順調	
				%			

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	H26年度の基礎整備完了に向け計画を進めているところです。現在、設計業務を行っているところであり、活動は順調と考えます。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	「経済性・効率性」を得られるように、設置箇所を十分検討しながら設計業務を行っています。

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	危機管理室
担当課	危機管理課
課長名	岡本

事業名	災害時要援護者避難支援制度				施策番号	
					II - 1 - (4) - ①	
事業概要	一定の介護を必要とする高齢者や障害者に対して個別調査を行い、自助・共助の避難支援体制づくりを自主防災組織や民生委員児童委員協議会等の地域団体と行政の協働で推進していきます。				事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
	コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)		目安の金額
	1,838 千円	3,486 千円		7,550 千円	(人件費備考)	

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	災害時に特別な支援を要し、迅速・適切な行動を取ることができないと予想される高齢者、障害者等(災害時要援護者)を災害から守り、又は被害を軽減するため、災害時要援護者の実態を把握し、情報を共有して、災害発生時に避難する支援体制づくりをします。	成果実績	H24年度は、より継続性・実効性のある支援体制に向け、実施方法について検討しました。		
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
	避難支援制度の構築 災害時要援護者を災害から守り、又は被害を軽減するため、災害時要援護者の実態を把握し、情報を共有して、災害発生時に避難する支援体制が構築されます。なお、現時点で成果指標を数値化することは困難と考えますが、今後、成果指標の表現等について検討します。 (最終目標と目標年度) 地域による避難支援の実施	—	—	—	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	(最終目標と目標年度)			%	やや遅れ 遅れ	順調

活動計画	災害対策基本法の改正を踏まえ、より継続性・実効性のある避難支援体制になるように検討します。			活動実績	関係局・区と避難支援体制について検討会を行い、具体的に事業の進め方について検討しました。	
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	地域との避難支援体制の連携	—	—	—	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	地域と連携し、避難行動要支援者に対する避難支援体制の見直しの検討			%	やや遅れ 遅れ	順調

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	支援者の確保が困難なため助に頼らざるを得ない対象者もいます。今後の課題として「自助・共助」を基本とする地域住民が主体となった支援づくりを目指し、地域の見守り活動を活用した事業実施を行うために、民生委員や自治会等との連携を検討していく必要があります。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	概ね効率的に行っていますが、システム導入による事業の効率化等、検討の余地があります。民間活力導入については、この事業は地域主体で実施すべき事業です。事業実施主体について、現時点においては防災・福祉部局等の関与が必要ですが、他の自治体の例も踏まえ、今後地域主体の仕組みを考えてまいります。

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)